

授業概要一覧 健康福祉学研究科博士前期課程

授業科目		授業概要
共通科目	生命と生活の質特論	二つの研究科に属する大学院生たちが、いま大きな危機にさらされている私たちの生命・生活・人生の質(Quality of Life)を複眼的な視点で問い、自由なディスカッションや、ワークショップ形式の学びあいの中で認識を深め、これからの学問研究へのひとつのきっかけをつかむことを涵養します。
基盤科目	健康福祉学特論	すべての人々の生活の豊かさや健康づくりに向け、医療、看護、栄養、福祉に関する連携、地域福祉の担い手の養成、積極的健康づくりを支える栄養と代謝の問題、疾病への対処と健康づくり等について、各専門分野から問題の提起を行います。またこれらの問題について講じる中から、「健康」にかかわる各専門領域の連携について理解を深め、また、現実社会における臨床的、実践的課題との相互作用を通して、各領域の理論と実践が統合された「健康福祉学」とは何かを追究します。
	健康福祉学特論演習	健康福祉学特論、健康福祉学研究法特論で得られた知識や技術をもとに、実際にフィールド調査や文献レビューを行います。その実際の活動を通じて、健康福祉に関する諸問題を科学的な研究方法に基づいて分析・考察し、また科学的根拠に基づいて課題解決を図り、そしてその成果を情報発信して社会に還元する創造的実践力と研究力を涵養します。
	健康福祉学研究法特論	健康福祉に関する地域の諸問題を発見し、科学的に分析するための研究方法について講義します。具体的には、研究パラダイム、研究デザインの方法、文献レビューの方法、研究計画書の作成方法、研究のプロトコール、研究論文の作成方法と学会発表の方法、研究倫理について講義します。最終的には、健康福祉学特論演習でのグループ研究や自ら修士論文に向けた研究計画書を作成し、実際の研究を実施できる能力を涵養します。
基礎科目	身体運動科学特論	身体運動が生体諸機能に与える効果とその評価法について解説するとともに、高齢者への運動処方論と具体的方法について理解を深めてもらいます。さらに、温度環境や身体運動が健康に及ぼす影響について、最新の知見を踏まえながら考察します。
	発達心理学特論	人間の発達メカニズムに関して発達心理学の観点から理解を深めます。特に、認知、学習、社会性の発達に焦点化し、現代的課題をとりあげながら論を進めます。展開においては、諸外国の文献をも含めつつ、論理的・科学的に理解を深めるように心掛けます。
	社会学特論	保健・医療・福祉に係わる諸現象について、社会学理論を踏まえた社会的なもののみならず、社会的なセンスの涵養を、主たる目的に展開します。保健・医療・福祉に係わる諸現象には、支援者及び対象者のそれぞれの主観的な意味の世界、自己を基点とする関係の世界が広がっています。それらを読み解く視座から、保健・医療・福祉に関する人間と社会の関係について考察します。
	看護科学特論	健康福祉学において、看護領域に関する知識・技術の重要性と役割を考察するとともに、看護の科学性について検討を深めます。看護について、科学的であるものとそうでないもの、科学的でなくてもよいもの等を考察します。
	健康栄養学特論	食生活の欧米化やライフスタイルの変化等によってもたらされる生活習慣病の増加や社会全体の高齢化などのため、食品中の栄養成分や機能性成分による疾病の予防・改善が重要視されています。しかし、社会には情報が氾濫し、本当に正しい情報を一般の消費者が理解することは以前に増して難しくなっています。そこで、人の代謝調節機能を踏まえ、栄養成分や食品の機能性成分等の摂取による生体機能の変動やその制御の機構について栄養生化学、食品機能学的な視点から解説します。
	社会福祉学特論	社会福祉研究法の基礎を学び、学際科学としての社会福祉学の学問的性格と研究方法について検討します。その上で、受講者の関心領域に焦点をあてつつ、社会福祉の権利と思想、貧困と社会福祉、子どもと家庭福祉、高齢者の福祉とケアのあり方、障害者と福祉、その他の分野の戦後の主要論文を系統的に講読します。
	社会保障学特論	現代社会における医療、年金、社会保障各分野の抜本的な改革について、制度に関する正確な理解を身につけた上で、その意識や今後の改革のあり方について考察します。わが国の社会保障の課題を国際比較の視点も入れて、主要先進各国の改革動向について学ぶとともにわが国の具体的な政策課題を題材にして分析、評価、政策提言などを行う力を養います。
	国際健康福祉学特論	健康福祉学に関連する海外文献を批判的に読み、海外の健康福祉学研究の方法と考え方や、現状と課題を把握し理解します。さらに、自己の研究課題を追求するための応用について検討します。

授業概要一覧 健康福祉学研究科博士前期課程

授業科目		授業概要
応用科目	地域看護学特論	地域における保健活動の理解を深め、地域保健に関する課題及び保健・医療・福祉の連携について考察するために、地域が抱える健康課題、それに対する看護活動の在り方等を検討します。
	地域栄養学特論	地域(コミュニティー)において、栄養改善及び健康の保持・増進のための活動にリーダーとして関与できる能力を身につけることを目的とします。特論では、日本人の食事摂取基準をもとに栄養学の基本的事項、行政による健康政策の概要を概説し、重要文献を参考にして食生活に関するエビデンスに基づく考察を行います。最終的に望ましい生活習慣を身につけるための健康学習プログラムを作成する能力を身につけることを目指します。
	地域福祉学特論	地域福祉の理念とその内容を理解すると共に、地域福祉を具体的に推進するための方法について学びます。また、地域福祉の充実には、福祉専門職同士の相互理解と他の保健医療従事者との連携が重要となるため、地域における連携のシステムについても考察します。さらに、福祉活動・福祉サービス提供における市民参加の意義についても検討します。
実践・臨床の理論に関する科目群	臨床看護学特論	多様化・複雑化・個別化・重症化への対応が必要とされる臨床看護の現場において、ケア(看護されること)を必要とする個人を十分にアセスメントすることはもとより、提供されるケアの質に対する評価・考察が重要となります。そこで、ケアを構成する要因や、ケアによる効果、ケアに関する科学性・普遍性等、臨床のケアについて多角的に検討します。
	臨床栄養学特論	現在、社会問題となっている生活習慣病について、その予防・改善に関連する栄養・食生活の現状と課題について解説します。生活習慣病を予防・改善するには、対象者のいくつかの生活習慣の改善が求められますが、実際には達成は容易ではないことから、対象者の行動変容を促進するアプローチ方法や行動変容の継続に必要な支援のあり方についても検討します。
	臨床福祉学特論	地域を基盤としたソーシャルワークの基本的な考え方やその展開方法について講義をした上で、ソーシャルワークをめぐる諸課題について考察します。またソーシャルワークの対象としての当事者とは何かを追究します。具体的には、事例検討を中心に、地域リハビリテーションや社会資源の活用方法、ケアマネジメント、コミュニティワーク、チームアプローチを展開する実践力を涵養します。
	臨床心理学特論	臨床心理学における査定法(アセスメント)を理解します。その上で、さまざまな職種が現場で出会う事例について、臨床心理学視点に基づき、その理解や支援方法について考えを深めます。
	健康福祉倫理学特論	保健医療と生命科学における倫理的問題に関するさまざまな課題を理解します。その上で、自己の価値観を大切にしつつ、価値観が異なる他者と対話できる視点を養います。
	健康福祉学特論応用演習	医療、看護、栄養、福祉領域の事例検討を行い、多職種と連携して健康福祉に関する諸課題を解決するために、リーダーやコーディネーターとしてチームアプローチを展開できる実践力を涵養します。また、専門職の模範となり、自ら培ってきた実践力を後進に伝え、教育・育成するスーパーバイザーやプリセプターとしての指導力を涵養します。
課題解決の理論に関する科目群	生と死のケア特論	人にとって避けることのできない死について、理論的概要を学習した後、社会福祉・看護・栄養の領域に立脚した生と死のケアに関する課題が持てるよう検討します。
	精神保健福祉学特論	時代による心の問題および精神障害の捉え方、理解の仕方について学びます。その上で、心の問題に提供できる医療、保健、福祉、教育などの支援や連携について考察します。
	食生活科学特論	現代日本の食生活の実態とそこから抽出される食生活上の問題点をふまえて、我々が目指すべき食生活とはどのようなものかについて、食品の栄養、嗜好、生理調節機能、食の文化的背景など、食に関わる様々な側面から解釈を行います。さらに、子供だけでなく成人・高齢者にとっても重要となる「食育」についても検討を行います。
	病態栄養学特論	昨今問題となっている生活習慣病(脂質異常症、高血圧、糖尿病、肥満症等)に関して、その病態と治療を解説し、チームアプローチや個人介入等栄養学的アプローチ方法について検討します。
	老年社会学特論	社会老年学の基礎理論をもとに、現代社会における高齢者の社会的位置づけや若年層から見た高齢者像を分析し、世代間格差や世代間交流などの諸課題を解決していく方法を考察します。また深刻化している少子高齢化の現状・課題と対策に探求し、政策形成にもつながる提言が可能となるような政策形成力を涵養します。
	権利擁護特論	看護、栄養、福祉領域の支援活動において、その対象となる高齢者や障害者の人権や様々な権利を保護する法制度についての基本的理解を行います。日本国憲法における生存権、民法における成年後見制度、社会福祉法における権利擁護関連制度の諸課題を分析し、実践現場においてこれらの法制度を有効に活用できる力を涵養します。
	特別研究	健康福祉学研究